



増田先生の

やさしく学ぼう!

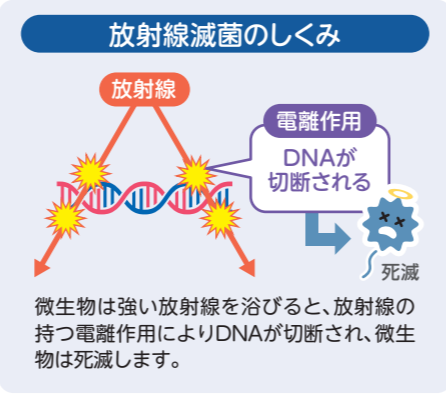


過去のコラムはこちら

監修
愛媛大学 客員准教授
医学博士 増田 晴造

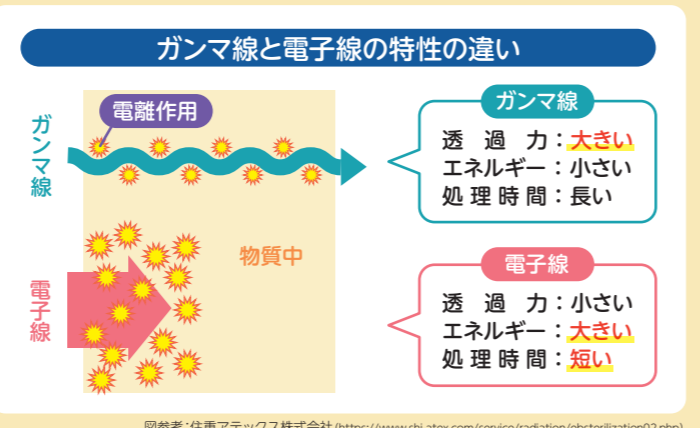
微生物を死滅、除去する放射線

滅菌(微生物を死滅、除去すること)方法の主なものは「熱」「ガス」「放射線」です。放射線滅菌の利点は、ガス滅菌のように有害な残留物が残らず、また熱滅菌のように大きな温度変化を与えないなどがあります。安全で確実な放射線滅菌は、医療器具(綿棒、注射針など)、衛生材料(ガーゼ、マスク)、食品や医薬品の包装紙、細胞培養の容器などに使われています。



TOPICS | ガンマ線による滅菌と電子線による滅菌の違い

放射線滅菌は、対象によってガンマ線と電子線が使い分けられています。電磁波であるガンマ線は透過能力が強いので、梱包された大容量のものをまとめて滅菌することに適しています。電子線の透過力はガンマ線に比べ劣りますが、高い電荷を持っているので強い電離作用があります。そのため処理スピードが速く、薄く表面積の広いものに適しています。



図参考:住重アテックス株式会社 (https://www.shi-atex.com/service/radiation/ebsterilization02.php)

愛媛県伊方原子力広報センター

原子力発電や放射線について、パネルや地形模型、映像等でご紹介しています。ご自由に見学していただけますので、ぜひご来館ください。

- 開館時間 / 午前9時～午後4時 ● 休館日 / 祝日及び12月29日～1月3日
- 所在地 / 〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1995-1 伊方町民会館内
Tel.0894-38-2036 Fax.0894-38-2026 URL https://www.ikata-dr-sada.or.jp/
- 交通 / JR八幡浜駅から車で約20分 ● 入場料 / 無料(団体での見学はあらかじめご連絡ください。)

発行 / 愛媛県 令和6年12月
編集 / 公益財団法人 伊方原子力広報センター
〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1995-1(伊方町民会館内)
【TEL】0894-38-2036 【FAX】0894-38-2026



Soleil

えひめ原子力だより それいゆ

2024 Winter
No.175



ノスタルジーを体感!
注目を集める
「岩松の町並み」



CONTENTS

- P1 令和6年度愛媛県原子力防災訓練を実施しました
- P3 環境放射線等調査結果をお知らせします
- P4 講演会のお知らせ
- P5 We are えひめLOVERS いま訪ねたいSPOT&AREA vol. 3

小西本家離れと蔵(宇和島市)

江戸時代から第二次世界大戦後まで、多様な事業で栄えた豪商・小西本家の離れと蔵。「岩松の町並み」の象徴ともいえる建物は、2022年にアメリカの財団の助力で改修されました。

愛媛県原子力防災訓練を実施しました

令和6年10月16日(水)、17日(木)に、地震に伴い伊方発電所において事故が発生したとの想定の下、県内市町や国、周辺県等と連携し、原子力防災訓練を実施しました。

原子力防災訓練ってなに？

原子力発電所のある地域において、発電所で事故が発生したことを想定して、避難や検査などのさまざまな訓練を行うことです。
その地域ごとに、地形や気候、住民の人数などの発電所を取り巻く事情が異なる中、想定する状況や訓練内容を毎年工夫しています。



●主な訓練の内容

●災害対策本部訓練

県や関係市町の災害対策本部の設置や運営など、地震発生直後の初動対応を行いました。



災害対策本部会議



災害対策本部

●避難退域時検査・簡易除染訓練

放射性物質放出後の避難住民を対象に、避難車両や衣服に放射性物質が付着していないかを調べる訓練を行いました。



避難退域時検査

●道路啓開訓練

地震により通行できなくなった道路について、緊急車両が通行できるように、がれき撤去やマンホールの段差除去などの作業を行いました。



隆起したマンホールの除去



段差の解消

●屋内退避訓練

家屋倒壊により自宅で屋内退避ができない場合を想定して、指定避難所などで屋内退避を行いました。



養生による隙間の解消

●海上モニタリング訓練

海路避難を行う船上において、避難前に海上の空間放射線量率を確認しました。



海上の線量率の測定

●住民避難・誘導訓練

伊方発電所から30km圏内の住民を円滑に避難させるため、陸海空さまざまな手段を用いて住民の避難・誘導訓練を行いました。また、伊方町の一時集結所では、町が開発した顔認証システムによる受付を行いました。



顔認証システムによる住民受付



バスによる陸路避難



ゴムボートによる海路避難



ヘリによる空路避難

●緊急時モニタリング訓練

●緊急時モニタリング運営訓練

放射線モニタリング情報の監視や、現地分析機関への指示書の作成等を行いました。



モニタリングの検討

●現地モニタリング活動訓練

可搬型モニタリングポストの設置や、大気や水などの環境試料中の放射性物質濃度の測定・分析の訓練を行いました。



環境試料の搬入

環境放射線等調査結果をお知らせします

令和6年4月～令和6年6月

愛媛県と四国電力(株)は、伊方発電所周辺の環境保全を図るとともに公衆の安全と健康を守るために、発電所周辺の環境放射線や放射能の調査を行っています。



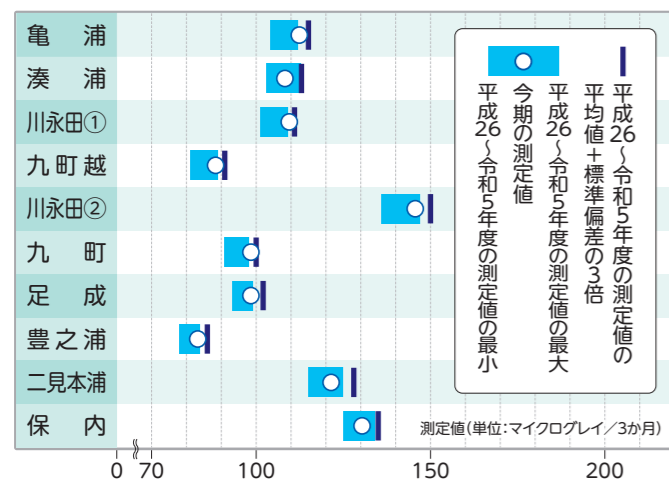
■伊方発電所周辺の環境放射線量(代表的な地点の例)

伊方発電所の周辺41地点のモニタリングポイント(積算線量計設置地点)での令和6年4月～令和6年6月の3か月間の測定値は、どの地点も、これまでの値と同程度で、**異常はありませんでした。**

環境放射線量

環境における放射線の3か月間の積算線量で、ほとんどがその地点における大地からの放射線と、宇宙線によるものです。

▶平成26年度以降の測定値との比較



環境放射線のリアルタイムのデータや過去の測定結果は「[愛媛県原子力情報ホームページ https://www.ensc.jp](https://www.ensc.jp)」でご覧いただけます。



愛媛県原子力情報ホームページはこちら

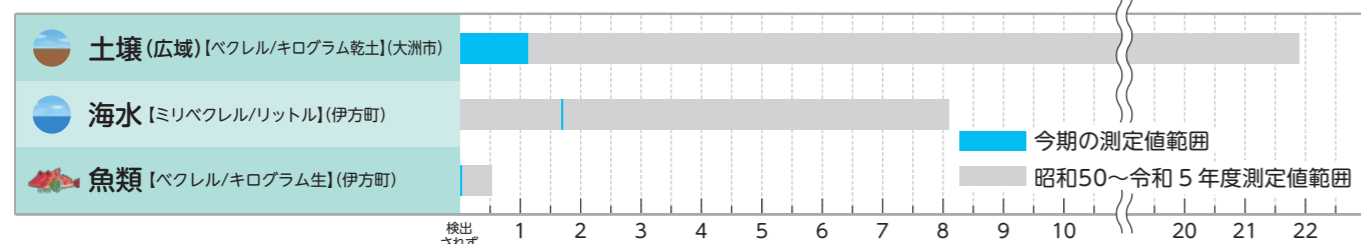


愛媛県原子力情報ホームページ環境放射線等調査結果はこちら

■環境試料の放射性核種分析結果

伊方発電所周辺の環境試料中の放射性物質の分析結果は、過去の調査結果と同じレベルで、**異常はありませんでした。**なお、セシウム-137がわずかに検出されていますが、これは伊方発電所1号機運転開始前から継続して検出されているもので、人体への影響上、問題となる濃度ではありません。

▶セシウム-137の放射能測定結果(愛媛県測定分)



講演会のお知らせ

エネルギーと環境について、知識を深めていただくために講演会を開催します。多数の方の参加をお待ちしています。

松山会場

日時 **令和7年1月25日(土)**
午後1時30分～3時30分

場所 愛媛県美術館 講堂(松山市堀之内)

演題 『放射性廃棄物、核燃料
サイクルってなんだろう?』

講師 九州大学工学研究院
エネルギー量子工学部門 准教授
いな がき や お ひろ
稲垣 八穂広 先生

参加料 **無料** 定員 **100名**



ホームページはこちら



お申し込み・お問い合わせ先

主催: 公益財団法人伊方原子力広報センター

TEL: (0894)38-2036 FAX: (0894)38-2026
ホームページ: <https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>

※電話、二次元バーコードにより、1月23日(木)までにお申し込みください。
※定員に達していない場合は当日の受付も可能です。
※気象状況など、不測の事態で中止になることがあります。中止の場合はホームページでお知らせします。直接お問い合わせされる場合は、携帯電話(090-7786-8264)へご連絡ください。

申し込みはこちら



We are えひめLOVERS

いま訪ねたい

SPOT & AREA

vol.03

ノスタルジーを体感！
注目を集める「岩松の町並み」



宇和島市津島町「岩松の町並み」(愛媛県)が、2023年12月、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。これは喜多郡内子町の「八日市・護国の町並み」、西予市宇和町の「卯之町の町並み」に続いて、愛媛県では3例目となる嬉しいニュースです。選定されたのは、「天ヶ森」と岩松川に挟まれた川沿いの一帯。地区には昔ながらの農家住宅が集まったエリア、江戸時代からの歴史をもつ町家エリア、

明治以降に建てられた土蔵や旅館が集まるエリアなどがあり、ゆっくりと町歩きしたくなることうけあい。特にメインストリートの「本通り」には、自家で醸造した醤油を販売する醤油屋、岩松の有志が町おこしのために開発し、今や大ヒット商品になったどぶろくや甘酒を扱う酒屋などがあり、岩松メイドのショッピングも楽しむことができます。冬の1日、ノスタルジックな風情を心ゆくまで味わってみませんか。

01 町並みのシンボルは「色ガラスの家」

「岩松の町並み」の繁栄は、江戸時代に酒造りを始めた豪商・小西本家がもたらしたと言われています。その栄華を今に伝えるのが、岩松川沿いにある「小西本家離れと蔵」。1904年頃に建てられたとされており、主にお客さまのおもてなしに使われていたそう。通称を「色ガラスの家」と言いますが、その名の通り、カラフルなガラスをはめた建具が目を引きまします。建築当時の明治時代、大変高価だったガラスを使用していることから、その豊かさうかがえますね。一時期は荒廃していた「小西本家離れと蔵」は、2022年にアメリカのワールド・モニュメント財団とフリーマン財団の支援を受けて改修がなされ、現在は原則2週間前までに申し込みをすれば内部の見学が可能です。

【小西本家離れと蔵】
問い合わせ/宇和島市教育委員会
文化・スポーツ課
TEL / 0895-49-7033
HP・見学申し込みフォームはこちらから →



色ガラスの美しい
反射にうっとり。



2階座敷のガラス窓に
刻まれた絵



邸内からは
岩松川を一望！



03 地元愛で運営するシェアスペース「阿部邸ハルモニの家」

今も多くの方が暮らしている「岩松の町並み」ですが、なかには住み手を失った古民家もあります。その1軒でかつて酒造が行われていた阿部家を借り受け、2024年4月から営業を開始したのが「阿部邸ハルモニの家」。地元愛たっぷりの女性集団「NPO harmoni〜ハルモニ〜」が運営しており、カフェやリラクゼーションサロン、ワークショップなどの舞台に。営業状況はInstagramで発信しているので、ぜひチェックしてから訪ねてみましょう。

Instagramは
こちらから



趣のある建物。
店頭黒板でも営業状況を発信



阿部家が大切に
保存していた
調製品などを活用



02 のんびり、ゆっくり町並み散歩



堂々と闊歩する
地域猫

メインストリートの本通りは、昔ながらの商人町。町家が建ち並んでおり、格子窓など町家らしい意匠を見ることができます。通りでは地域猫がのんびり散歩する姿も。酒屋や醤油屋、金物屋など営業中のお店も点在していますから、買い物をするのもいいですね。

※町歩きの際には個人宅の敷地に立ち入らないなど、マナー違反のないように注意しましょう。



check!

「阿部邸ハルモニの家」の松岡あやさんに聞いた岩松のこれから

就職活動中、岩松の風情や人の温かさに惹かれてまず宇和島市に移住。その後、念願の岩松暮らしを始めたという松岡あやさん。「この町に気軽に立ち寄れるカフェやサロンがあればいいねって、友人たちとの会話から思いついたのが「阿部邸ハルモニの家」のきっかけです」と話します。松岡さんを含めて、仲間たちは皆仕事や子育てに忙しい世代。一方で、家庭や職場以外の自分たちらしく輝ける場所が欲しいとの思いも。「自分たちの願いも叶えることができ、岩松を訪れる人を喜ばせることができれば最高！本当は毎日でもオープンしたいのですが、長く続けるためには無理をせず…とも思っています」。松岡さんらの「岩松愛」を受け止め、貴重な古民家を貸してくれた阿部家に感謝しつつ、新たな出会い、生きがいを求めているメンバーたちです。



NPO harmoni〜ハルモニ〜代表
松岡あやさん